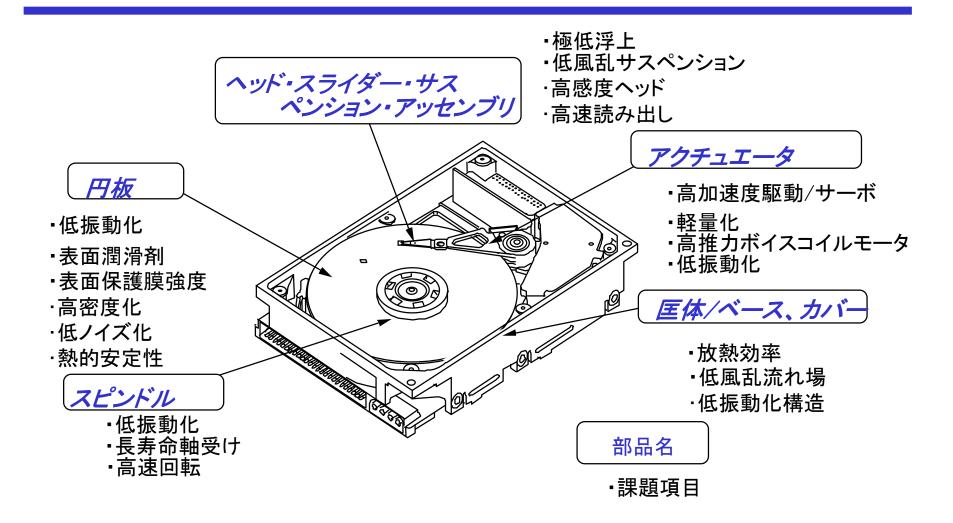
磁気ディスク装置と 高性能化へのロードマップ

- 1. 磁気ディスク装置概要
- 2. 高密度化とその技術
- 3. 高速化とその技術
- 4. 情報家電へ,次世代超高密度HDDへ

日立製作所 ストレージ事業部 ディスク装置開発部 三枝省三



磁気ディスク装置構造と開発課題

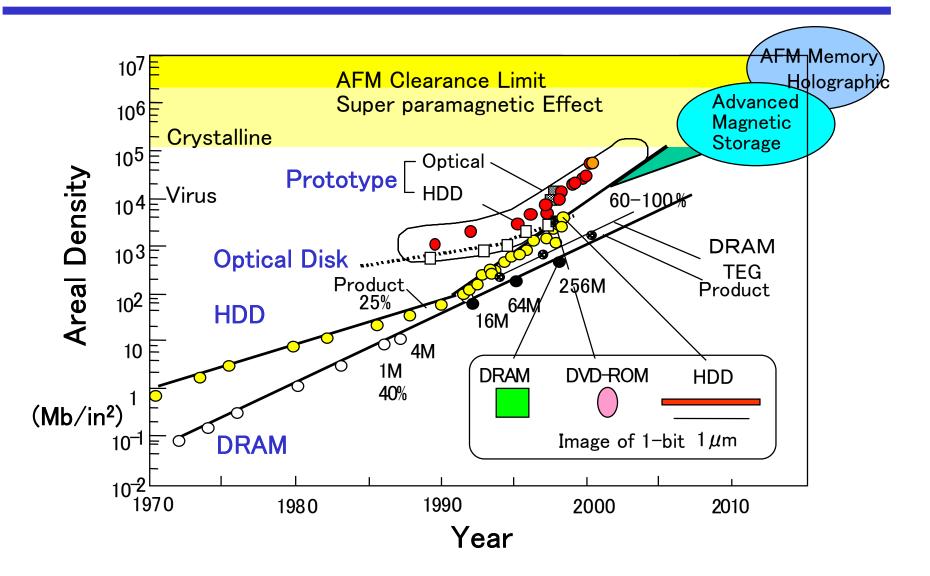


磁気ディスク装置の機能と課題

- - 周方向の高密度化 (BPI : bit per inch)
 - ヘッドの高感度化, 円板の高密度化, 低浮上
 - 半径方向の高密度化 (TPI : track per inch)
 - 高精度位置決め, 低振動機構
- 2. 高速:データの高速転送
 - 高速回転:スピンドルモータ
 - **高速シーク**:高推力アクチュアータ,高速サーボ
 - 高速データ転送:高速スイッチング,高速転送
- 3. その他の開発軸
 - _ 低価格化,耐衝擊,清音化
 - 高信頼性,長寿命(連続書き込み読み出し)

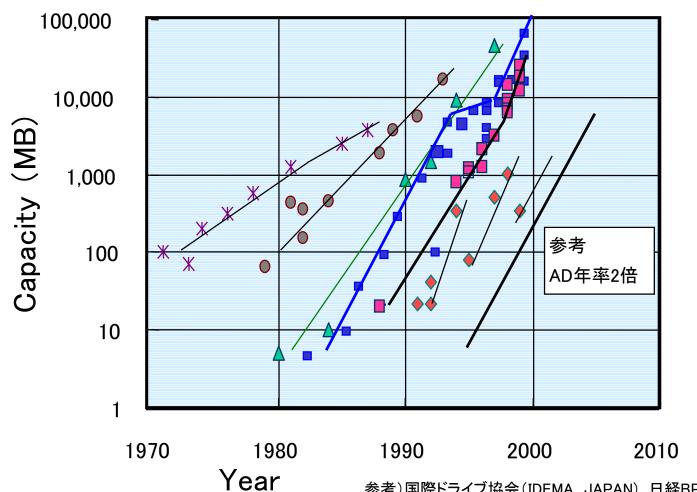


面密度の推移



磁気ディスク装置の容量推移 (1970~2000)

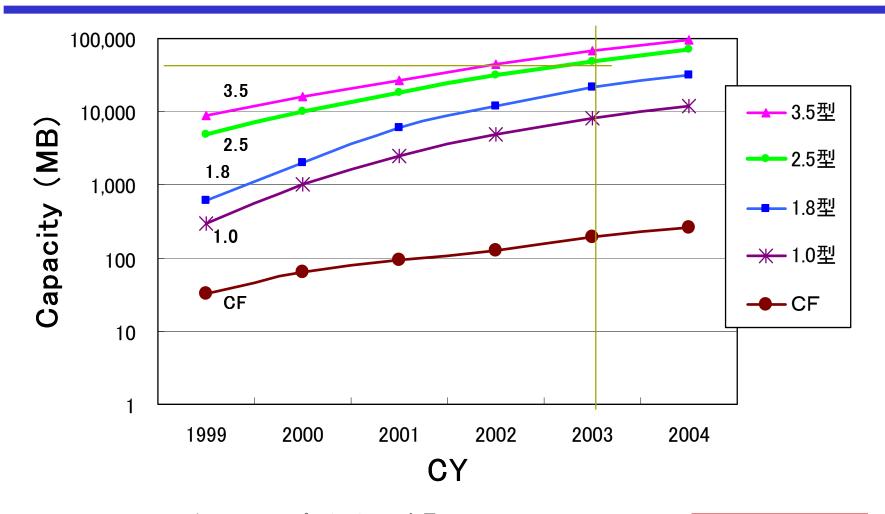




- ※ 直径14in
- 直径11-8in
- ▲ 直径5.25in
- 直径3.5in
- 直径2.5in
- ◆ 直径<1.8in

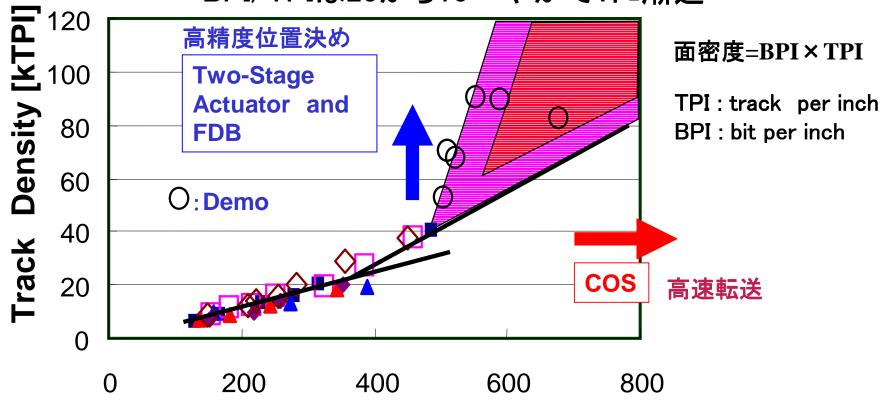
参考)国際ドライブ協会(IDEMA JAPAN)、日経BP社、(2000/4)p315-319, 他

ストレージの記憶容量推移予測



TPI: 高精度位置決め (2段アクチュエータ) と BPI: 高速転送(COS)

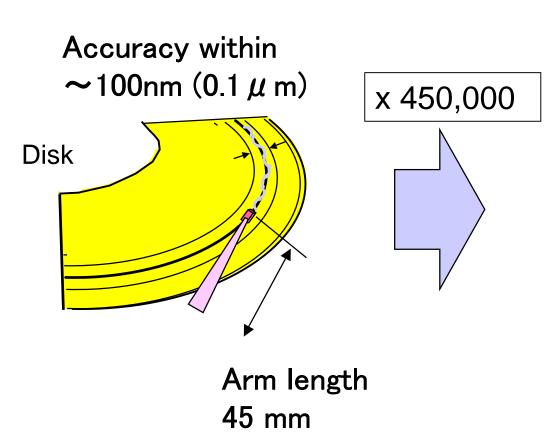


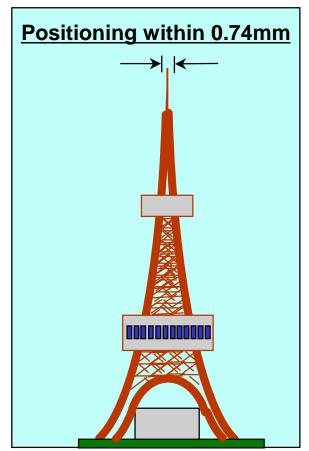


Linear Recording Density [kBPI]



ヘッド位置決め精度の説明



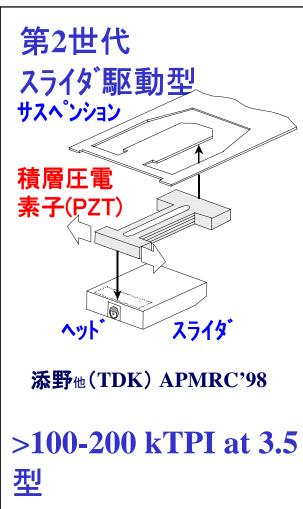


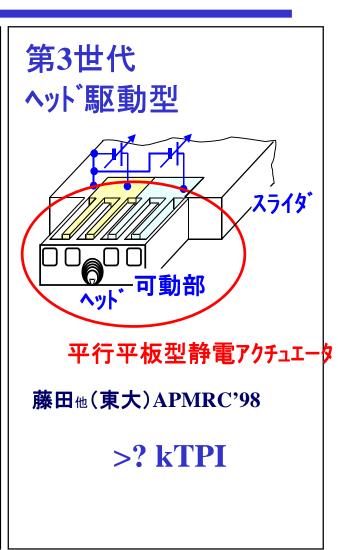
333m height



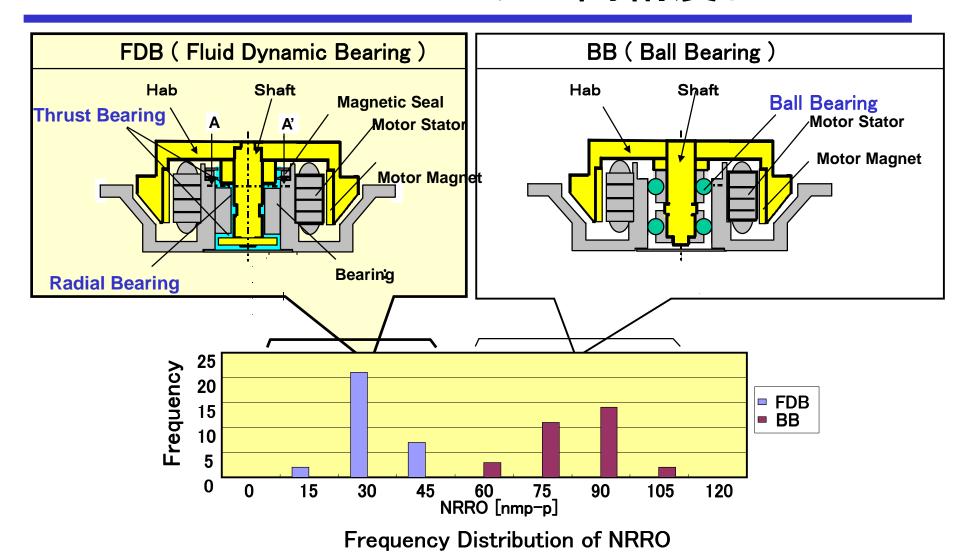
2段アクチュエータ用微動アクチュエータ







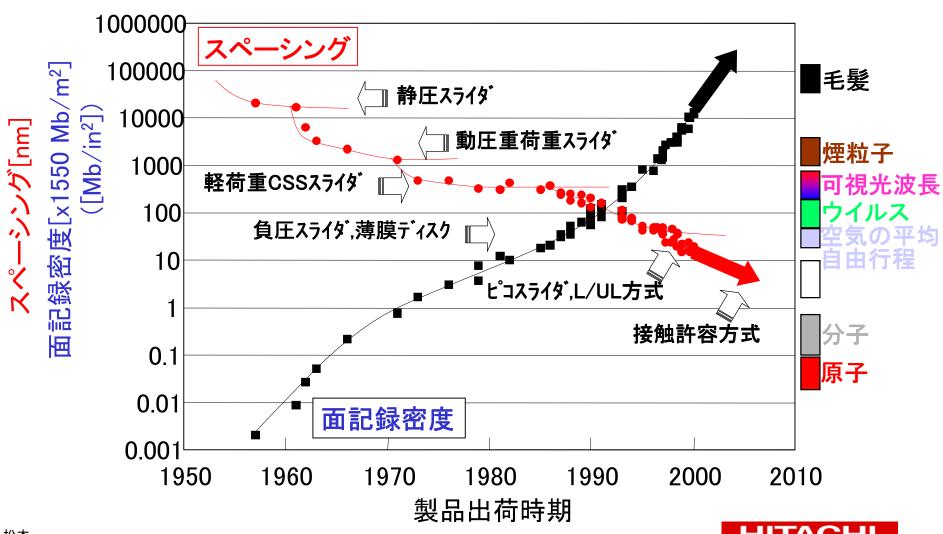
スピンドルモータの高精度化



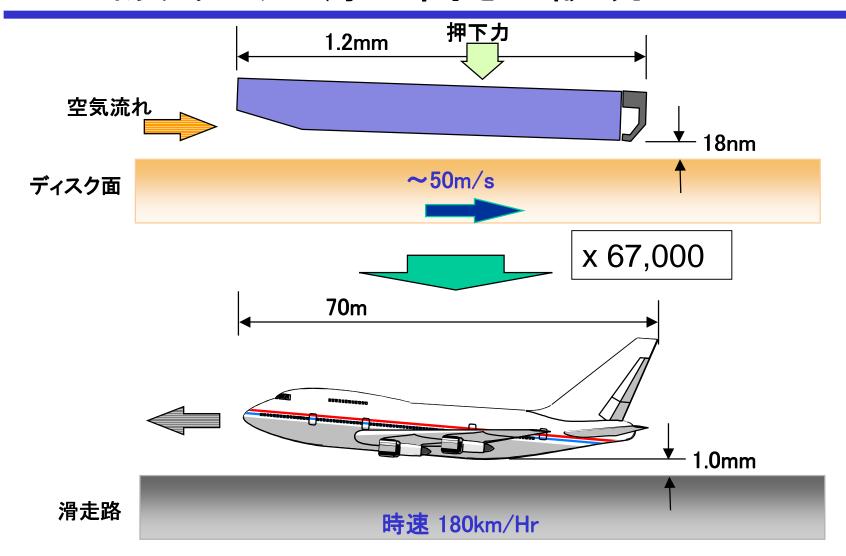
その他の利点:低騒音、耐衝撃、信頼性



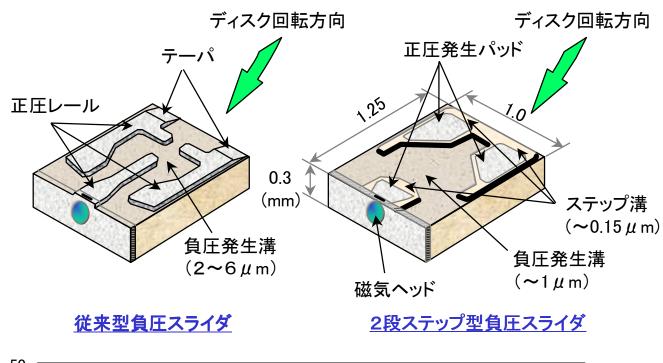
浮上量の変遷



磁気ヘッド浮上高さの説明



スライダ技術



50 E 40 30 M 20 N 10 0 低下~3nm

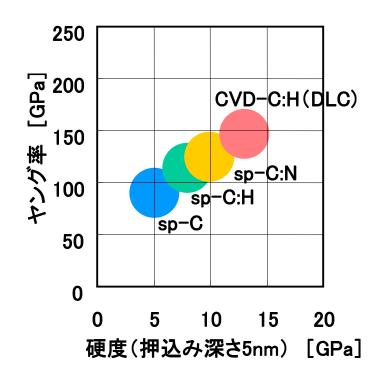
気圧低下(高度3000m相当)による浮上量低下



保護膜技術(信頼性の作り込み)

- •磁性膜を腐食から守るための被覆性確保
- •耐摺動性向上のための耐摩耗性確保

緻密化、高硬度、高弾性率 ヤング率/硬度比の低減 ダイヤモンド構造に近い構造



HDDの高速化

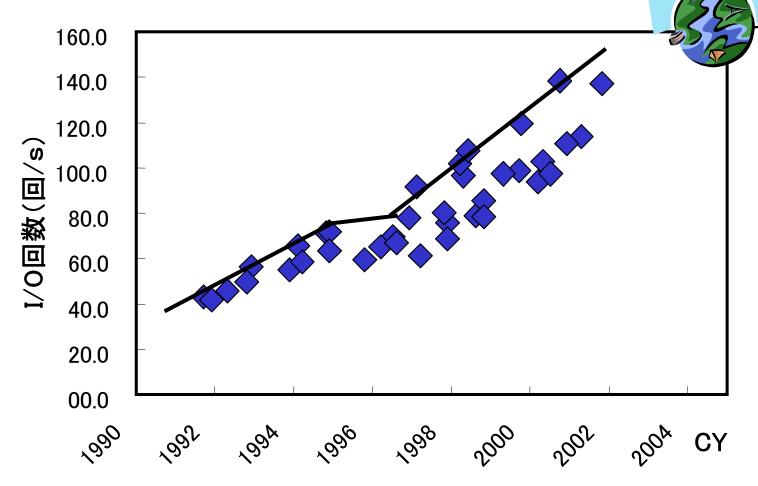
- I/O回数
- 高速化シーク: 4.7ms(加速度50G), 3.6ms

(→3ms(加速度100G))

● 高速回転: 15,000→(22,000→30,000rpm)

実現設計(フラッタ、流れ) 消費電力、スピンドル、小径化

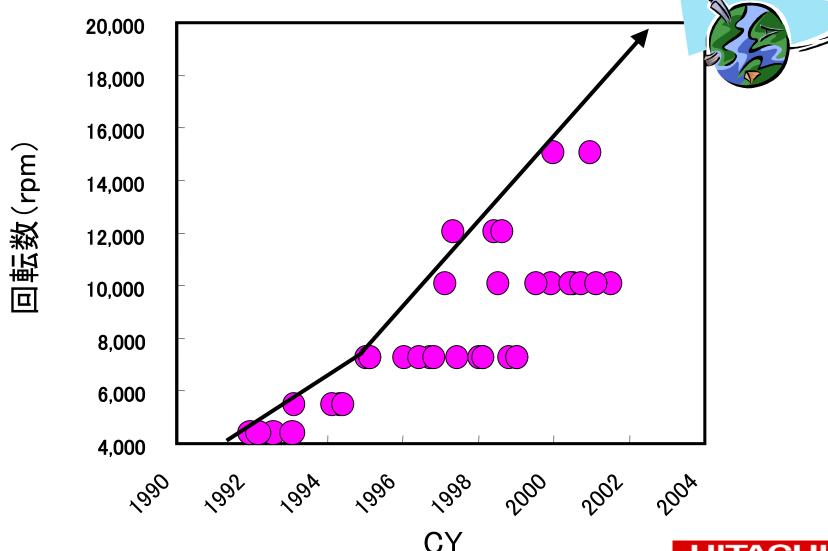
I/O回数の推移



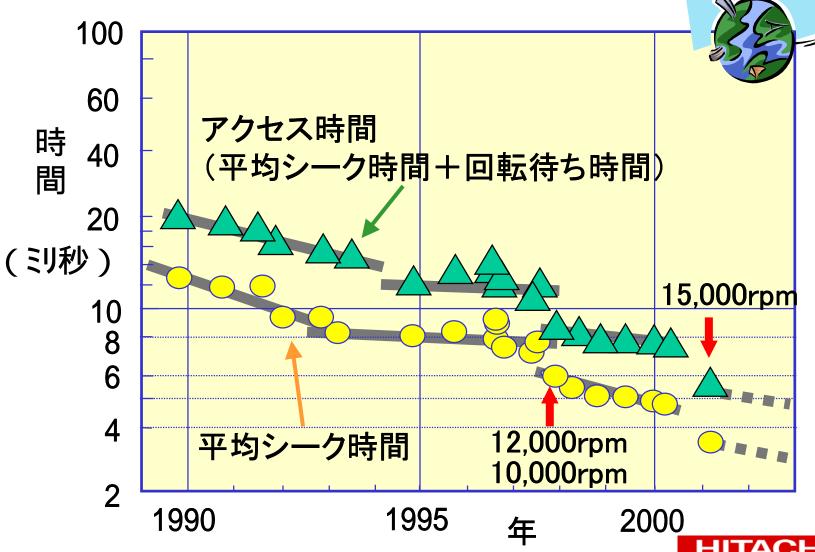
I/O回数(回/s)=1/(平均シーク時間+回転待ち時間+SCSIオーバヘッド+18kB転送時間)、

条件:ランダム(書き込み1:読み出し1)、非整列,キャッシュヒット無し

回転数の推移



アクセス時間の推移



HDDの将来像(高速型)



項目	単位	3型	2.5型	1.8型	1型	参考
<u> </u>	(mm)	84	65	48	27.4	ϕ 65mm
円板枚数	(枚)	4	4	4	4	5
容量	(GB)	280	200	100	20	18.4
回転数	(krpm)	10	15	23	45	15
シーク時間	(ms)	4	3	2.5	2	3.9/4.5(4.2)
内部転送速度	(MB/s)	120	140	160	180	47.4
I/O回数(ランダム)	(回/s)	130	180	240	330	推定140
I/O回数(1Tr)	(回/s)	240	320	450	660	推定300

2003年?(参考BPI/TPI=348k/21.4k)

考察

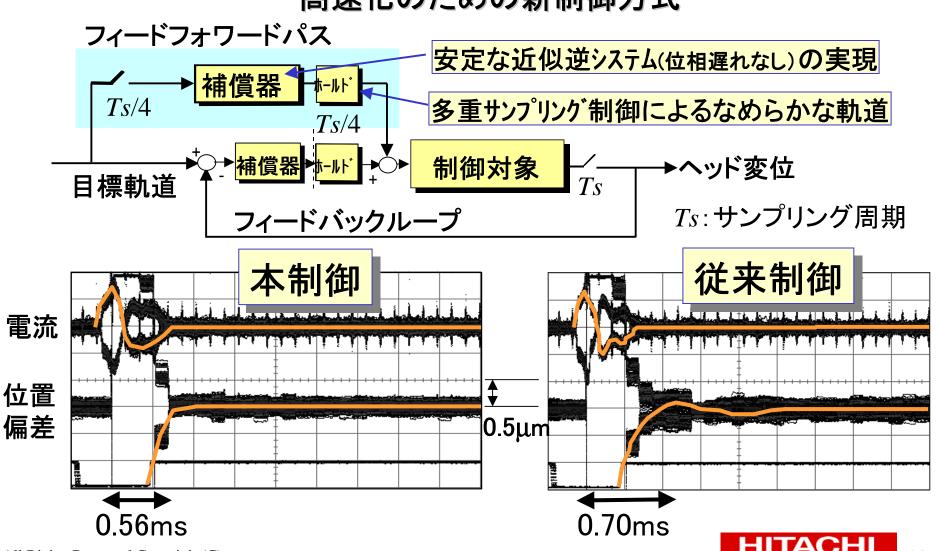
_ 3 /31						
周速	(m/s)	44	5 1	58	65	51

考察条件: 面密度:100Gb/in² 、消費電力:<11W、25.4mmH

BPI: 1000k, TPI: $100k(0.25 \mu m)$, BPI/TPI=10

マルチレートFF制御

高速化のための新制御方式



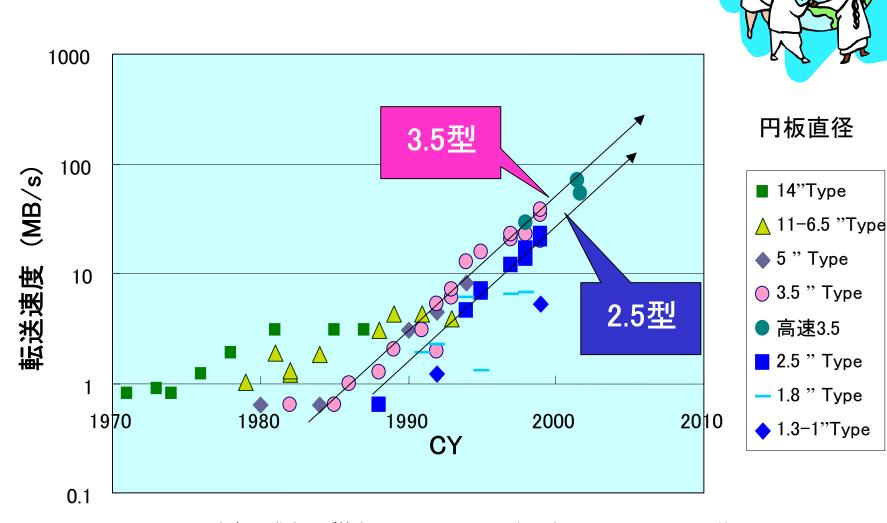
2組アクチュエータ型(概念)



ボード上型ミニRAIDシステム(概念)



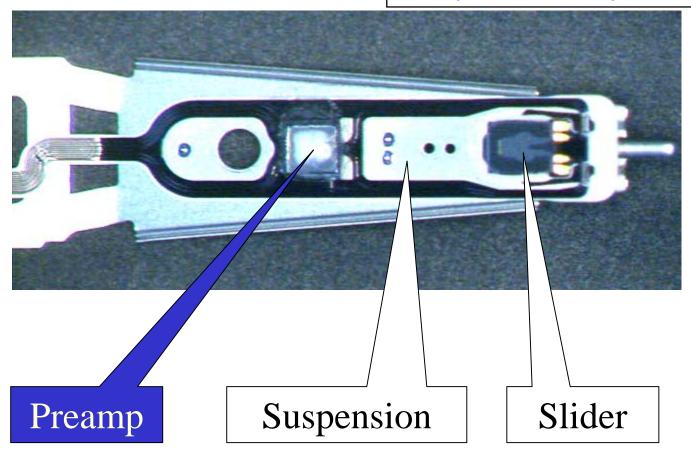
転送速度のトレンド



参考)国際ドライブ協会(IDEMA JAPAN)、日経BP社、(2000/4)p315-319, 他

高速転送の鍵となる技術

Chip On Suspension



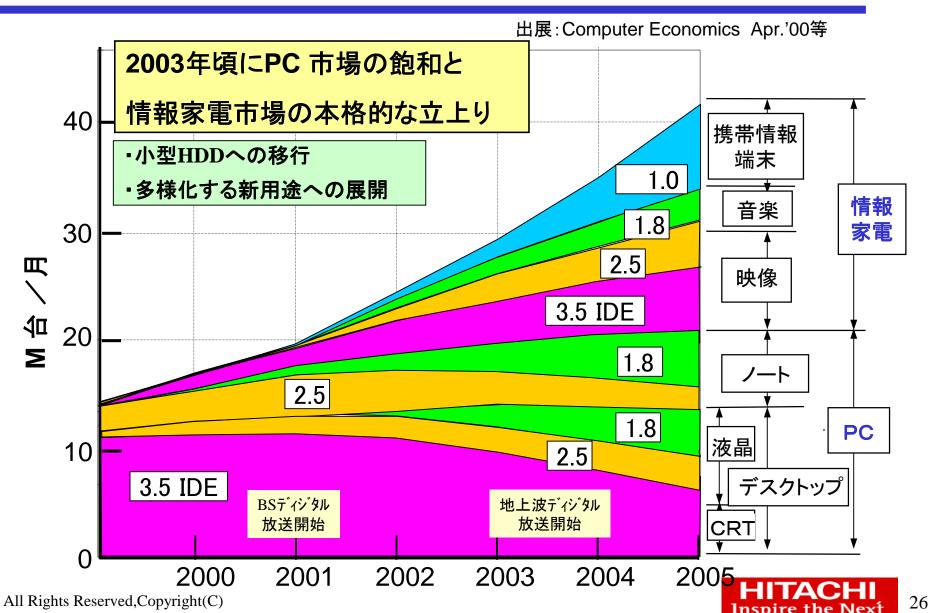
これからの磁気ディスク装置

- 1. 市場:情報家電への展開
- 2. 技術開発
 - 垂直
 - 光融合

記録密度 テラビットへの挑戦

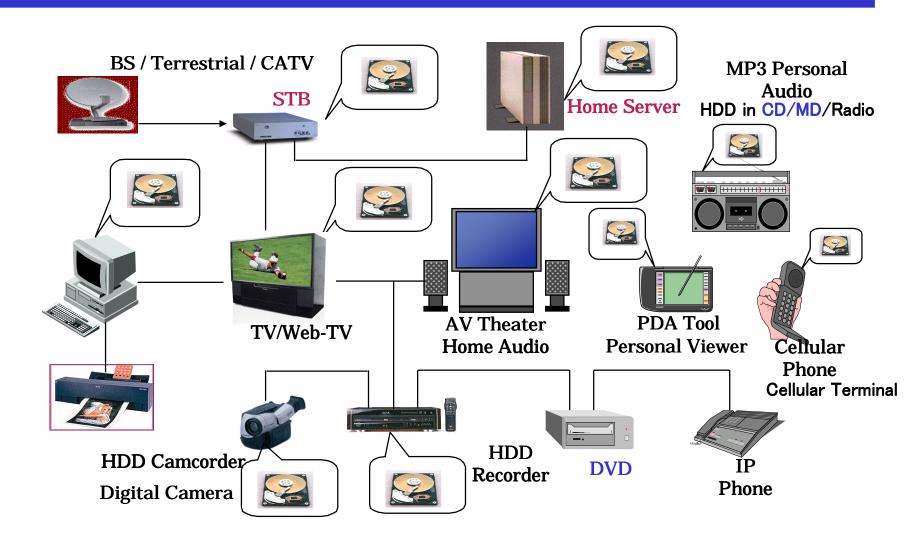


HDD用途の多様化の将来予測



2001-6/7, Hitachi, Ltd S. Saegusa

情報家電用途におけるHDD適用例

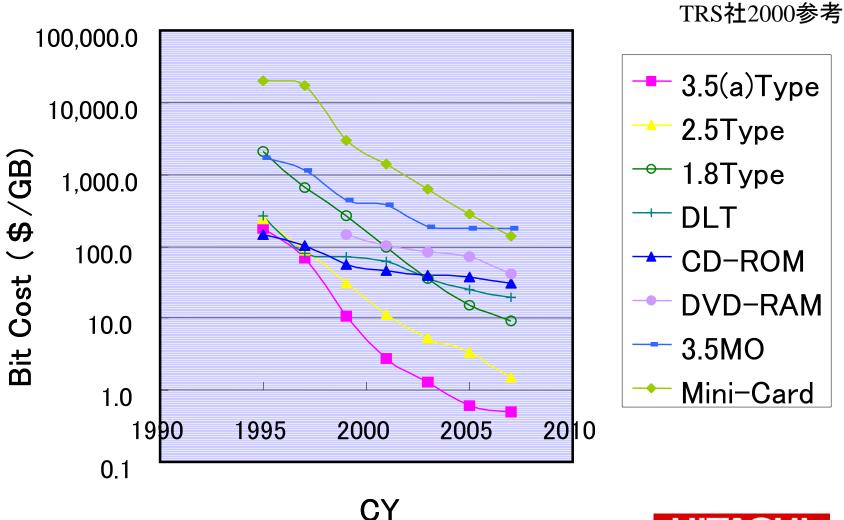


ランダムアクセス系ストレージの得失比較

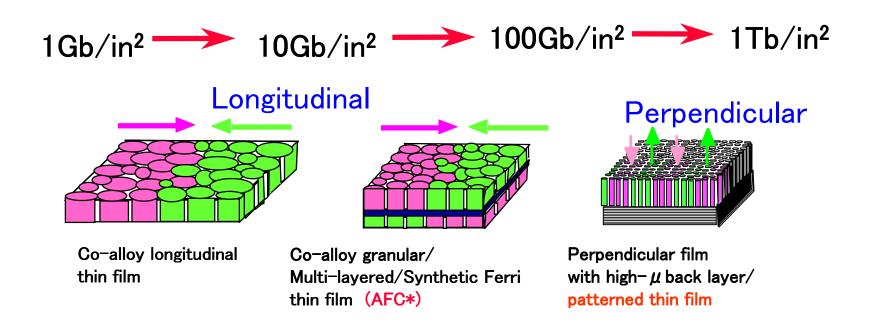
ストレージ	DVD/CD	3.5型HDD	2.5型HDD	~1型HDD	CF Memory
記憶容量	0	0	0	Δ	×
価格(ビットコスト)	0	0	0	Δ	×
転送速度	Δ	0	0	Δ	0
重量•寸法	Δ	×	Δ	O	0
駆動電圧	Δ	×	0	0	0
消費電力	Δ	Δ	0	0	0
騒音	Δ	Δ	0	0	0
寿命	0	Δ	Δ	Δ	0
耐衝撃性能	0	×	Δ	0	0
記録回数	0	0	0	0	Δ

(注):DVDとHDDは、ドライブ1台 + メディア1枚で比較

記憶装置ビットコストの推移



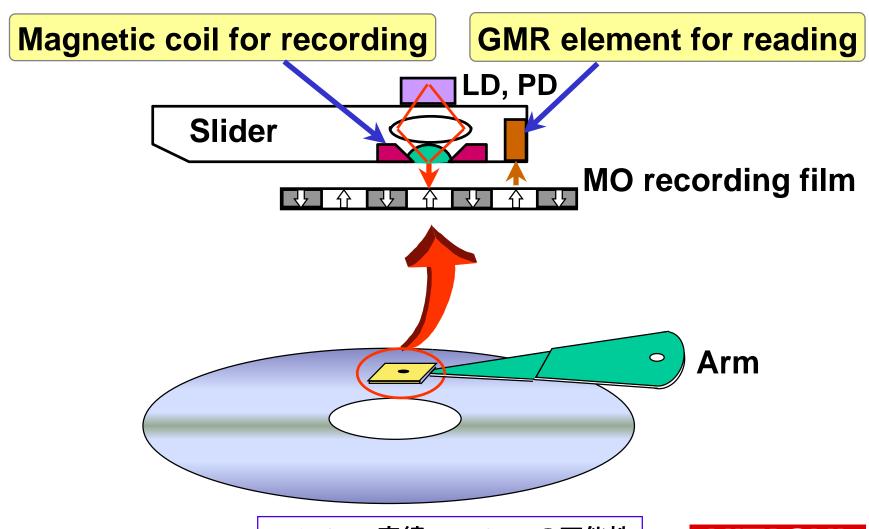
メディア技術の開発



* AFC : Anti-Ferro Coupled

Patterned Media (65 Gbit/in²)

光熱磁気記録読み出し方式



ドライブの動作信頼性に関する運用

・修復不可能なエラー

(ホストに報告し適切な処理を期待)

項目	内容
Uncollectable error	修正不可能なエラー
Write fault	書き込み禁止
Seek error	シークエラー

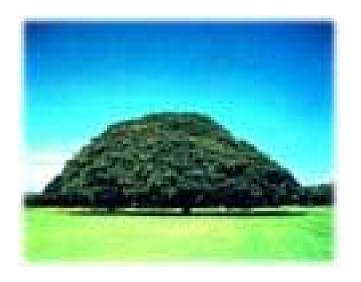
·修復可能なエラー(=ANSIに基づくSMART 情報)

(ホストには必要に応じて報告)

項目	内容
Read error rate	閾値を超えた読み出
Write error rate	閾値を越えた書
Seek error rate	閾値を超えたシークエラー率
Re-allocated sector count	再指定した補助セクター数
Spin up retry count	閾値を超えた回転増加試行回数
Spin up time count	ある一定時間以上かかった回転数増加時間の回数

S.M.A.R.T. (Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology)





Nourished by deep roots, growing tall.

ありがとうございました。 日立STR 三枝